

雜感

吉永 公祐

2017年11月3日

木の深まりをおぼえる頃にユリました。ご遺族におすごいのことと拝察
 申し上げます。先日の四代会で貴名のご訃報をどうか四代会の歩みに
 先と与えていた方がいいようになることと人一倍に喜んでおりました。
 傘寿とすごいハケ路を文苑に送っておられる諸先生らによりとこうで
 ある四代会のたどった道を歩む2-ターを作っていたのはこの立場
 感に格別です。同封致しました肉体的な健康やツラいなどではこの会の
 歩みは他校や本校江原会には見られぬことだと思っております。
 他の方とすごい戦後の混乱期を経験し自由の尊厳を重んじたことを
 仲間が6年間の間につかわれてきた友情の大事と知り大いに待た
 っかけました。1972年(84)より高橋君・本田君・三宅君
 に四代会の立ち上げを準備したの4名の名の友でした。同封の写真
 に当時のメンバーを眺めてみると中心になつてくれた人をはじめ、
 鬼丸、伊藤、小崎、大塚、名川、見などか恩義に入りこびいとおぼえ
 ます。江原会が4回の卒業だったと云うことから「四代会」と呼ばれる
 と云う乙丸兄の提案をいれて決定し、当初はプリンセツク舞の舞を
 4年ごととして総会を行つてに決めたことでした。6回目の
 卒業40周年の記念会1992年10月17日まで4年の舞でして
 60歳の還暦と迎へるところになるとそろそろ他界する友の訃報
 が出て来ようにより4年の間隔は長かから毎年開催にしようとする
 とにより2002年10月18年の会から毎年開催することにしました。
 以来本年(2017年)まで27年となくつづいてます。
 その間の事務その他多くの仕事を貴会長をはじめ補助の方々の
 ご苦労がつづいていることに感謝申し上げます。さぞ鬼木兄に
 四代会のページを立ち上げていただき、今回の訃報録を丁寧に整理
 していただき江原会の諸君以上に充実したページが出来たので
 はるかに鬼木兄に期待しているところです。会のページに出席
 の諸先生をストップした分が沢山保存されています。以前は自分
 の仕事が多忙でそれぞれを発送することも出来ませんでした。
 自分こんど友、友人の顔を見てくれていたのかと懐しく
 思い出されることでも、以前、出席の皆さんにこれまでの
 ストップを見てもらうと訃報(右角紙)に沢山の写真と貼付
 し会場に掲載したことがありました。折角の訃報みて
 いただけると会に与えた方々の眼にとまることはほとんどあり
 ませんでした。

限られた時間には反意と乗り方などについては少しづつに周知し、
 友との会話もオーでかかづけられた分をやつくりなからぬことなど
 実際無理だ、とるように思いました。本来会場にPILパムを寄せ
 たりすることやりました。正並でこそ本田と村上を名高研社
 など会の盛り上げに力を注いでくれた方々のスタッフその他
 と強いるから進退していったら、と決山あります。一人PILパム
 ととりながら、せつらかにおねむり下さうと今合せています。
 男性の平均年齢は82歳になったとか、幸い会員の皆様がその年を過ぎずに
 すごいしました。またまた之れに因会していただき、子に
 さいりハナハ歳の祝いを会員で、區等に祝ったことおねむり
 一つの目的をもち、元気で生きよう、友に会えと云う句が、やるから
 日々百歩むことにより

別封にも述べた通り、いまは、果下の優秀な友が果つて高いはその
 偉大し折るのに、実力検査、ア4フメントテストで、各者なく自分の実力
 なすと教えられる。廊下に150番までぐら、と成績別に名前を張り出され
 しゃい、と他友との力のすばさを教えられること、と、
 社会の厳しさを教えられること、
 他学年の生徒の中には、その原厚に
 研ぶことが出来ず、自ら生命を絶つた生徒もおりました。成績が、
 決り人生ではないと云うても、
 最高の競争、
 学校のついでに、
 す社会で、
 若い思い、
 自らの力に、
 失望した、
 思い、
 出る、
 今、
 つか、
 かい、
 思い、
 出、
 ます、
 そんな、
 中、
 で、
 変、
 う、
 こ、
 と、
 なく、
 い、
 つ、
 つ、
 の、
 実、
 力、
 を、
 持、
 ち、
 つ、
 づ、
 け、
 た、
 勉、
 勵、
 者、
 の、
 つ、
 り、
 へ、
 は、
 尊、
 敬、
 の、
 念、
 を、
 抱、
 け、
 て、
 い、
 た、
 彼、
 方、
 の、
 心、
 に、
 は、
 「
 君、
 」
 と、
 呼、
 び、
 つ、
 づ、
 け、
 た、
 も、
 の、
 今、
 回、
 の、
 ホ、
 ム、
 の、
 上、
 げ、
 も、
 彼、
 に、
 お、
 せ、
 話、
 に、
 な、
 り、
 ま、
 じ、
 つ、
 ぐ、
 く、
 パ、
 ソ、

 の、
 ペ、
 ー、
 ジ、
 を、
 見、
 り、
 ま、
 じ、
 色、
 高、
 の、
 校、
 門、
 に、
 立、
 ち、
 石、
 林、
 の、
 門、
 こ、
 れ、
 こ、
 そ、
 自、
 己、
 使、
 命、
 の、
 世、
 に、
 奉、
 ら、
 れ、
 た、
 出、
 来、
 も、
 の、
 かつ、
 小、
 遣、
 が、
 母、
 校、
 に、
 奉、
 務、
 し、
 た、
 折、
 々、
 全、
 國、
 の、
 教、
 師、
 及、
 び、
 学、
 校、
 と、
 祈、
 ね、
 て、
 来、
 た、
 時、
 に、
 必、
 ら、
 ず、
 「
 学、
 校、
 の、
 名、
 前、
 か、
 か、
 け、
 ら、
 れ、
 て、
 い、
 る、
 は、
 尊、
 敬、
 の、
 念、
 を、
 持、
 ち、
 て、
 来、
 た、
 と、
 賞、
 め、
 ら、
 れ、
 た、
 こ、
 と、
 で、
 し、
 た、
 野、
 田、
 校、
 長、
 先、
 生、
 が、
 御、
 幸、
 橋、
 の、
 か、
 り、
 が、

 の、
 際、
 下、
 げ、
 を、
 手、
 続、
 け、
 ら、
 れ、
 た、
 時、
 「
 城、
 に、
 登、
 る、
 武、
 士、
 の、
 如、
 く、

 人、
 々、
 に、
 立、
 ち、
 上、
 る、
 橋、
 の、
 上、
 の、
 道、
 は、
 高、
 高、
 の、
 生、
 徒、
 は、
 社、
 会、
 の、
 人、
 々、
 に、
 お、
 ね、
 む、
 り、
 支、
 え、
 ら、
 れ、
 た、
 こ、
 と、
 と、
 知、
 り、
 ま、
 じ、
 り、
 の、
 学、
 校、
 こ、
 こ、
 に、
 奉、
 務、
 し、
 て、
 来、
 た、
 支、
 え、
 ら、
 れ、
 た、
 こ、
 と、
 と、
 伝、
 え、
 ら、
 れ、
 た、
 と、
 告、
 げ、
 ま、
 し、
 た、

今回のホームページ作成の仕事を新役に引き継ぎ、在任の黄会長
 藤田 其 名、北九州 幸 本 名 に特に援助していただき、
 ことを、
 香、
 く、
 感、
 謝、
 申、
 上、
 げ、
 ま、
 す、
 勉、
 勵、
 者、
 の、
 こ、
 苦、
 勞、
 が、
 つ、
 づ、
 く、
 か、
 と、
 思、
 い、
 ま、
 す、
 こ、
 の、
 理、
 由、
 を、

 承、
 知、
 願、
 い、
 ま、
 す、
 お、
 め、
 り、
 願、
 い、
 ま、
 す、